



令和2年10月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134
Fax : 0297-34-3291



HPは
こちら

アグリ山崎スマート農業実証コンソーシアムの検討会が開催されました

9月25日、アグリ山崎スマート農業実証コンソーシアム主催により、スマート農業技術現地検討会（第2回）が開催され、メーカー及び県関係機関約100名が参加しました。本コンソーシアムは、（有）アグリ山崎を中心に、大学、企業及び県関係機関が、農林水産省の「スマート農業実証プロジェクト」の一環で連携して取り組んでいます。当日は、『収穫同時鋤き込み技術』について検討しました。この技術は、隣接ほ場で有人コンバインと無人のロボットトラクターを同時に動かし、省力化を図るとともに、水稻残さの分解促進による地力向上を目指したものです。

水稻収穫後の耕うん作業は、例年、早くても10月下旬からのスタートで、全ての面積を一回りするのに翌年1月頃までかかっていた。そのため、寒い時期の鋤き込みとなり、有機物の分解が遅れ、翌作のガス湧きの原因となっていました。しかし、『収穫同時鋤き込み技術』により、有機物の分解が促進され、ガス湧きを抑えられるとともに、基肥施用量の削減も期待できます。



上映された動画

（有）アグリ山崎の山崎代表は、「稲刈り後時間を空けず、土が乾燥する前に耕うんできるので、土がほどよくほぐれる」と評価していました。

会場では、有人コンバインと無人のロボットトラクターの作業風景の動画を中心に説明されました。また、本技術の費用対効果に関する質問が多く、関心の高さが伺えました。

普及センターは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、スマート農業推進に向けた取組を支援していきます。

坂東地域アグリセミナー第3回「土づくり講座」を開催しました

9月25日に「令和2年度坂東地域アグリセミナー 土づくり講座」を開催し、管内の新規就農者・若手農業者7名が受講しました。まず、（1）土づくりの基礎、（2）土壌診断の活用について、（3）堆肥の使い方について講義を行いました。質疑応答では、「緑肥は土づくりと病害虫防除両方に効果が期待できるのか」、「堆肥は毎年投入して問題ないのか」等、様々な質問が挙がりました。

また、講義後のワークショップ「私のほ場の土づくり」では、自身のほ場で行っている施肥、緑肥等についての紹介や、現在抱えている悩みについて意見交換を行い、今後の土づくりに向けて活発な議論が交わされました。受講生からは「土壌診断の大切さがわかった」、「堆肥について講義を受けられて勉強になった」等の声がありました。

普及センターでは、今後も様々なセミナーを開催し、新規就農者の支援に努めていきます。



農作物、農機具の盗難に

注意!

> 畑に放置しない
> 倉庫で施錠管理



食品加工や食品の
販売に取り組む皆様！

「HACCPに沿った衛生管理」が 令和3年6月から制度化されます！

平成30年6月に食品衛生法が改正され、令和3年6月から、原則すべての食品製造・取扱事業者にHACCPに沿った衛生管理が求められます。

そのうち小規模事業者等については、事業者団体が作成し、厚生労働省が確認した手引書を参考に、「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」を実施する必要があります。

衛生管理計画の作成については、**各業界団体が作成した業種別の「手引書」が厚生労働省のHPで公開されています。**

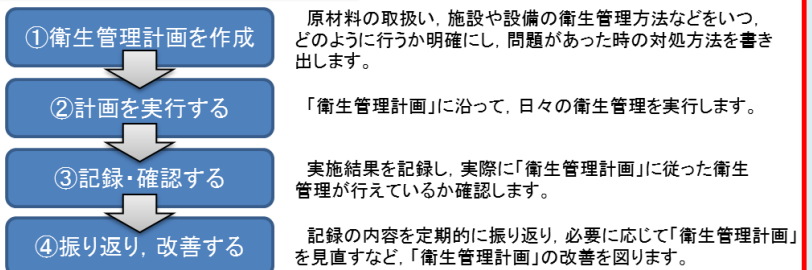
6次産業取組者等に対し、保健所や普及センターでは衛生管理計画の作成等について助言を行っておりますので、ご不明な点がございましたらご相談ください。

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理

○対象となる事業者

- ・小規模な営業者等(食品の取扱いに直接従事する者が50人未満の製造・加工等の事業場)
- ・食品の製造・加工施設に併設・隣接した店舗で全部又は大部分を小売販売する営業者(菓子やそうざいの製造販売、飲食店営業など)
- ・食品を小分けし販売する事業者(米屋、コーヒーの量り売り、青果商、青果卸売り等)等

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理とは？



土壌診断に関するQ&A ~特に問い合わせの多い質問について~

Qほ場のどこから土を取ればいいの？

→ほ場の中心と対角線上の計5か所(図の○部分)から採取しましょう。

Q土を取る際に気をつけることは？

→表層の1cm程度の土は除いて、深さ10~20cmくらいまでの土を1箇所につき約500g採取しましょう。

5箇所から取った土は、よく混和してください。

Q採取した土はそのまま普及センターに持って行けばいいの？

→作物の残さや土の塊ができないよう、乾燥させてふるいにかけてみましょう。その後普及センターまで持ち込みをお願いします。

Q測定に使う土の量は？→お茶碗1杯分程度です。

Q土壌診断で測定する項目は？

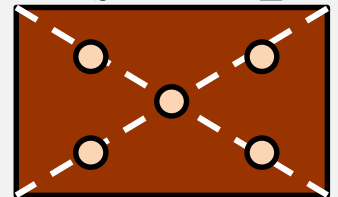
→pH、EC、石灰、苦土、カリ、リン酸です。

Q診断結果はどのように返ってくるの？

→処方せんとしてお返しします。

Q診断にかかる費用は？→無料で行っています。

ほ場のイメージ図



圃場分析年月日
坂東地域農業改良普及センター

様 315

市町村名 _____ ほ場名 _____
作物名 レタス 土壌の種類 【露地野菜花き】炭酸質黒ボク土

項目	測定値	基準値	判断
pH(H ₂ O)	6	5.5 ~ 6.5	
pH(KCl)	4.68	5.5 ~ 6	低い
EC	0.14	0.01 ~ 0.5	適正
石灰	233	400 ~ 450	不足
苦土	33	45 ~ 55	不足
加里	66	25 ~ 40	過剰
石灰苦土比	7.1	7 ~ 10	適正
苦土加里比	0.5	1 ~ 2.5	低い
リン酸	57.3	20 ~ 60	適正

リン酸 石灰 苦土 加里

不足成分量 土壌改良資材の例
pH(KCl) 0.8 炭酸カルシウムを 118 kg/10a 施用してください。
石灰 167 mg/乾土100g
苦土 12 mg/乾土100g 苦土石灰を 84 kg/10a 施用してください。
加里 0 mg/乾土100g

処方せんの例

11月 土壌診断実施日のお知らせ

11月4日(水)、11月25日(水)の2回

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順となります**ので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っていません**。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みをお願いします。

編集後記

食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋等、秋は‘楽しみ’の多い季節という印象を持っています。新型コロナウイルスや台風等、不安な気持ちも多々ありますが、少しでも楽しいことを考えながら過ごしていければと思っています。(林)